

厚生労働省 委託事業

在宅医療連携拠点事業

～ 一步前へ～

平成25年2月3日

徳島市医師会

在宅医療支援センター

豊田 健二

徳島市医師会における 「在宅医療における整備目標」

将来、徳島において、

1. 急性期医療を崩壊させない！

2. 在宅難民を出さない！

どうする、徳島

今後、高齢者が増加することは間違いなし。

つまり、入院を必要とする人が今以上に増加！

一方、徳島市周辺の課題

○ 急性期病院(主に県中・日赤・市民・大学)は：

・今でも恒常的に満床状態。

さらに、最近、3病院が新改築（県中・日赤・市民の3病院で213床の減）

いま以上に、入院を必要とする人が増えれば

緊急入院が必要であるのに、入院できない！

急性期医療の崩壊

○ 慢性期病院、介護施設は

・今でも満床で急性期病院からの受け入れが困難。

いま以上に、入院を必要とする人が増えれば

次の「療養場所の選択」の余地なく、家に帰らざるを得ない！

在宅難民の発生

どうする、徳島



今後、高齢者が増加することは間違いなし。
つまり、入院を必要とする人が今以上に増加！

今のうちから、
質の高い在宅医療を提供する体制作り。

いま以上に、入院を必要とする人が増えれば

次の「療養場所の選択」の余地なく、家に帰らざるを得ない！

在宅難民の発生



徳島市医師会

在宅医療に対する基本方針



在宅医療は、かかりつけ医機能の延長線上に。



かかりつけ医の診療形態は様々で

無床・有床、診療時間など・・・



でも、自分が診てきた患者は、自分が最後まで見守ろう。

できるだけ、多くの医師が在宅医療に関われる環境作り。

行政と共に創る、在宅療養グランドデザイン作り。



地域に対する医師会の役割



徳島市医師会における在宅整備への取り組み

○ 医師会による事業運営(四事業)

- ・ 訪問看護ステーション
- ・ 居宅介護サービスセンター
- ・ ヘルパーステーション
- ・ 地域包括支援センター

○ 在宅連携への取組み

① 縦の連携

在宅医療支援センター

在宅緩和ケアネットワーク

後方支援病院ネットワーク

がん診療連携拠点病院・ホスピス・在宅緩和ケアネットワーク・行政の連携会議

② 横の連携

在宅療養支援診療所24時間ネットワーク

③ 情報発信

HPにおいて在宅療養支援診療所の紹介（市民や入院医療機関向け）

④ スキルアップ

在宅医療連携研修会（勉強会）

⑤ 多職種連携



徳島市医師会における在宅整備への取り組み

○ 医師会による事業運営（四事業）

徳島市地域包括支援センター

- ・平成18年に徳島市医師会内に設立。徳島市より事業委託。
- ・徳島市で唯一の地域包括支援センター。
- ・スタッフ数：約50名
- ・相談件数：160件超/日、2800件超/月、3万4千件/年

③ 情報発信

HPにおいて在宅療養支援診療所の紹介（市民や入院医療機関向け）

④ スキルアップ

在宅医療連携研修会（勉強会）

⑤ 多職種連携

徳島市医師会における在宅整備への取り組み

○ 医師会による事業運営（四事業）

特 徴

徳島市内に唯一の包括支援センター。
徳島市医師会の中にある。
徳島市の介護と医療の分野が
1つの場所で調整できている。

③ 情報発信
HPにおいて、包括支援診療所の紹介（市民や入院医療機関向け）

④ スキルアップ
在宅医療連携研修会（勉強会）

⑤ 多職種連携

徳島市医師会における在宅整備への取り組み

○ 医師会による事業運営（四事業）

徳島市地域包括支援センター

- ・平成18年に徳島市医師会内に設立。徳島市より事業委託。
- ・徳島市で唯一の地域包括支援センター。
- ・スタッフ数：約50名
- ・相談件数：160件超/日、2800件超/月、3万4千件/年

③ 情報発信

HPにおいて在宅療養支援診療所の紹介（市民や入院医療機関向け）

④ スキルアップ

在宅医療連携研修会（勉強会）

⑤ 多職種連携

徳島市医師会における在宅整備への取り組み

○ 医師会による事業運営(四事業)

- ・ 訪問看護ステーション
- ・ 居宅介護サービスセンター
- ・ ヘルパーステーション
- ・ 地域包括支援センター

○ 在宅連携への取り組み

① 縦の連携

在宅医療支援センター

在宅緩和ケアネットワーク

後方支援病院ネットワーク

がん診療連携拠点病院・ホスピス・在宅緩和ケアネットワーク・行政の連携会議

② 横の連携

在宅療養支援診療所24時間ネットワーク

③ 情報発信

HPにおいて在宅療養支援診療所の紹介（市民や入院医療機関向け）

④ スキルアップ

在宅医療連携研修会（勉強会）

⑤ 多職種連携



徳島市医師会における在宅整備への取り組み

○ 医師会による事業運営（四市連携）

- ・ 訪問看護
- ・ 居宅

在宅医療連携拠点事業

③ 情報発信

HPにおいて

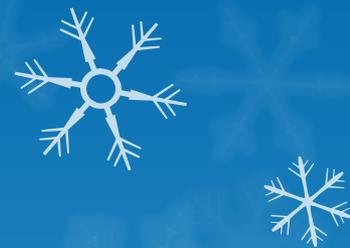
④ スキルアップ

在宅医療連携研修会（勉強会）

⑤ 多職種連携

在宅医療連携拠点事業

活動状況



1. 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

- ・多職種連携会議の開催（4回/年）
- ・キーパーソン3：在宅医・訪問看護師・ケアマネージャー連絡会
- ・ケアマネージャープラス：ケアマネージャーと多職種連絡会
- ・三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）の開催（在宅医療 部会創設）
- ・徳島在宅安心タッグ；徳島市と徳島市医師会で在宅療養のランドデザイン描く（4回/年）
- ・在宅医療連携会議：4病院＋在宅医（44）＋徳島県＋徳島市
- ・在宅医（44）・後方支援ネットワーク（20）連絡会
- ・在宅医（44）・連携訪問看護ステーション（14）連絡会

2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援

- ・24時間ネットワーク（33在宅療養支援診療所）：強化型への移行
- ・連携訪問看護STネットワーク（14訪問看護ST）
- ・クラウドを利用した多職種による患者情報の共有化
- ・ケアマネタイムの作成
- ・TIZI-NET

3. 効率的な医療提供のための多職種連携

- ・専任ケアマネ、看護師によるアウトリーチ
- ・資源マップの応用

4. 在宅医療に関する地域住民への普及啓発

- ・市民公開講座の開催

5. 在宅医療に従事する人材育成

- ・都道府県リーダー、市町村リーダーの育成
- ・在宅緩和医療研修会（徳島がん対策センター監修）の開催（年4回）
- ・医療従事者研修会（山形県鶴岡地区から学ぶもの）



1. 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

- ①多職種連携会議の開催（4回/年）
- ②キーパーソン3連絡会の開催（3回/年）
- ③ケアマネージャー・プラス（3回/年）
- ④徳島市・徳島市医師会 「徳島在宅安心タッグ」創設（4回/年）
- ⑤三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)の開催(在宅医療部会 創設)
- ⑥在宅医(44)：在宅医療連携会議： + 4病院+徳島県+徳島市
- ⑦在宅医(44)：後方支援病院ネットワーク(20)連絡会
- ⑧在宅医(44)：連携訪問看護ステーション(14)連絡会

1. 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

必須：多職種連携会議

徳島市内を3圏域（北部・西部・南部）に分割し、それぞれで会議を実施。

①事前アンケート

1. 多職種連携の課題、阻害要因は何か？
2. 連携をするにあたり、他の職種に望むものは何か？

②連携会議 1

③「解決策」「他職種から望まれていること」をそれぞれの職種に還元し、実践依頼

④連携会議 2：実践してわかった新しい課題と解決策

1. 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

- ①多職種連携会議の開催（4回/年）
- ②キーパーソン3連絡会の開催（3回/年）
- ③ケアマネージャー・プラス（3回/年）
- ④徳島市・徳島市医師会 「徳島在宅安心タッグ」創設（4回/年）
- ⑤三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)の開催(在宅医療部会 創設)
- ⑥在宅医(44)：在宅医療連携会議： + 4病院+徳島県+徳島市
- ⑦在宅医(44)：後方支援病院ネットワーク(20)連絡会
- ⑧在宅医(44)：連携訪問看護ステーション(14)連絡会

役割を活かした多職種連携会議 ～キーパーソン3、ケアマネ・プラス～

在宅医

訪問看護師

ケアマネ

歯科医

薬剤師

ヘルパー

理学療法士

その他

役割を活かした多職種連携会議 ～キーパーソン3、ケアマネ・プラス～



在宅医 キーパーソン3

実際の事例を検討する中で、
互いの役割や距離感を掴む。

訪問看護師

ケアマネ

歯科医



薬剤師



ヘルパー

理学療法士



その他



役割を活かした多職種連携会議 ～キーパーソン3、ケアマネ・プラス～

在宅医

訪問看護師

ケアマネ

歯科医

薬剤師

ヘルパー

理学療法士

その他

役割を活かした多職種連携会議 ～キーパーソン3、ケアマネ・プラス～

在宅医

訪問看護師

ケアマネ
・プラス

歯科医

薬剤師

介護の中心であるケアマネ
が多職種から情報収集し、
在宅医・訪問看護師に伝
える手法を学ぶ。

理学療法士

その他

役割を活かした多職種連携会議 ～キーパーソン3、ケアマネ・プラス～



在宅医

ケアマネ
・プラス

歯科医

薬剤師

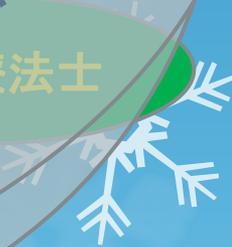
総多職種連携

訪問看護師

ケアマネ

今年の中野では、ケアマネが多職種から情報収集し、在宅医・訪問看護師に伝える手法を学ぶ。理学療法士

その他



医療機能連携会議 (在宅医を中心として)

徳島市医師会
在宅医療ネットワーク
(TIZI=NET)
44在宅療養支援診療所



医療機能連携会議

(在宅医を中心として)



徳島市医師会 在宅医療ネットワーク

急性期病院・一般病院・ホスピス

家で療養したいと帰りたい希望。
でも、家で診てくれる在宅医師が見つからない



在宅医療を提供
(44 在宅療養支援診療所)

徳島市内の在宅セーフティネット



医療機能連携会議

(在宅医を中心として)

急性期病院・一般病院・
ホスピス

行政
(徳島県・徳島市)

徳島市医師会
在宅医療ネットワーク
(TIZI=NET)
44在宅療養支援診療所

医療機能連携会議 (在宅医を中心として)



急性期病院・一般病院・
ホスピス

行政
(徳島市)

在宅医療連携会議

目的：自宅療養を希望する
がん患者への
在宅移行を支援する。

(TIZI=NET)

44在宅療養支援診療所



医療機能連携会議

(在宅医を中心として)

急性期病院・一般病院・
ホスピス

行政
(徳島県・徳島市)

徳島市医師会
在宅医療ネットワーク
(TIZI=NET)

44在宅療養支援診療所

後方支援病院
ネットワーク
(BBN)
20医療機関

医療機能連携会議

(在宅医を中心として)



急性期病院・一般病院・
ホスピス

行政
(徳島県・徳島市)

徳島市医師会

在宅医療
ネットワーク

在宅医療ネットワーク
(TIZI=NET)

後方支援病院
ネットワーク
(20)

在宅療養支援診療所

連携会議

後方支援病院
ネットワーク
(BBN)
20医療機関



医療機能連携会議

(在宅医を中心として)

急性期病院・一般病院・
ホスピス

行政
(徳島県・徳島市)

徳島市医師会
在宅医療ネットワーク
(TIZI=NET)

44在宅療養支援診療所

後方支援病院
ネットワーク
(BBN)
20医療機関

連携訪問看護
ステーション(14)

医療機能連携会議

(在宅医を中心として)



急性期病院・一般病院・
ホスピス

行政
(徳島県・徳島市)

徳島市医師会

在宅医療ネットワーク
(TIZI=NET)

44在宅療養支援診療所

連携訪問看護ステーション
(14)

後方支援病院
ネットワーク
(BBN)
20医療機関

連携会議
訪問看護
ステーション(14)

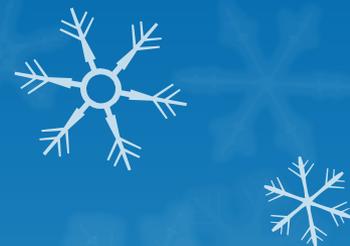
行政との連携 「徳島安心タッグ」

徳島市 と 徳島市医師会

共通理念のもと、市民が安心して
在宅で過ごせる体制を作る。

年4回 会議

2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援



①在宅療養支援診療所24時間ネットワーク (33)

②クラウドを利用した多職種による患者情報の共有化

③連携訪問看護STネットワーク (14訪問看護ST)

④ケアマネタイムの作成

⑤徳島市医師会在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)(44)



2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援



①在宅療養支援診療所24時間ネットワーク（33）



在宅療養支援診療所24時間ネットワーク

平成18年からスタート。

33の在宅療養支援診療所が、輪番制に互いの副主治医となって24時間待機する、相互サポート体制。

4つの在宅療養支援診療所。
強化型モデルとして移行準備中。



2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援



連携訪問看護ステーションST(14)

問題点：小規模事業所が多いため、忙しさにムラ。

負担軽減支援：クラウドを通じて、互いの繁忙さを確認し合い、仕事をシェアできる環境を作る。

④ケアマネタイムの作成

⑤徳島市医師会在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)(44)



2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援



①在宅療養支援診療所の4時間診療体制の導入（22）

徳島市内全域のケアマネタイム

対象：在宅医・訪問看護ST・
歯科医・病院スタッフ

④ケアマネタイムの作成

⑤徳島市医師会在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)(44)



3. 効率的な医療提供のための多職種連携

①専任ケアマネ、看護師によるアウトリーチ

包括支援センター主催：

ケアマネ・プラス（ケアマネと多職種の研修会）

②資源マップの応用

3. 効率的な医療提供のための多職種連携

①専任ケアマネ、看
包括支援センター主
ケアマネ・プラス（

②資源マップの応用

「資源マップ」
マッピングした事業所に
アンケートを実施。

Q.実際に地域の中で本当に
役割を果たしているか？
（待機状況は？回転率は？）

その結果を行政と共有する。

5. 在宅医療に従事する人材育成



①在宅緩和ケア研修会（年4回）

②都道府県リーダー・地域リーダーの育成

③医療従事者研修会



5. 在宅医療に従事する人材育成

在宅緩和ケア研修会（年4回）

- ・在宅医の質の向上と均てん化を目的。
- ・講師・研修内容は徳島がん対策センターに依頼。

がん拠点病院医師と在宅医の信頼関係の構築

今後の方向



1. 急性期医療を崩壊させない！
2. 在宅難民を出さない！

皆さんと一緒に「一歩前へ」踏み出しましょう。

ご清聴、ありがとうございました。



今後の方向

徳島市医師会が掲げる
「在宅医療の整備目標」。

どの地域においても言えることでは？
もしも、そうなら、

今回知り合った様々な拠点事業所の皆様と積極的に連携を図り、
互いが有機的に繋がり合うことで、
加速度的に在宅医療を整備することが可能かも。

皆さん、私たちと一緒に「一歩前へ」踏み出しましょう。

ご清聴、ありがとうございました。

多死社会に向けての解決策

1. かかりつけ医が、自分の患者は最後まで自分で診る体制。

できるだけ多くのかかりつけ医が在宅医療に参加できる環境整備。

かかりつけ医と在宅専門医療機関との階層的な連携体制作り。

2. 徳島市医師会と行政(徳島市、徳島県)の協力体制の構築。

医師会：地域医療を担う役割を持つ、かかりつけ医の集合体。

行政：医療・介護体制のグランドデザインを描く役割を担う立場。

官民が互いに理念を共有し、協調し合って在宅医療を整備。

3. 徳島市民への理解と協力依頼。

限られた医療資源(入院ベッド、介護施設等)をシェアしよう。

病状が軽いうちは、できるだけ「住み慣れた家で過ごす」

という地域の雰囲気作り。